

さぬき市 大川町女性防火クラブ

香川県さぬき市大川町女性防火クラブ
会長 六車 直美



大川町女性防火クラブは高松市より東に位置するさぬき市の山手にある人口4,600人余りの地域で昭和46年1月24日に創立し、現在クラブ員300名で「自助・共助・近所」を合言葉に活動しています。

主な活動として、住宅用火災警報器の普及啓発や地元幼年消防クラブとの防火活動、そしてクラブ員自ら受講する普通救命講習等であり、住宅用火災警報器の普及啓発では、地元の小学校での運動会や地域のイベントに赴き、紙芝居やゲーム方式等様々な手法で子供たちから高齢者まで住宅用火災警報器を知っていただくようにしております。同時に住民の皆様から住警器設置アンケートのご協力をお願いしており、アンケートの結果では年々設置している住宅が増えてきて、住民の皆様が住警器の大切さをご理解いただけていると感じています。

また幼年消防クラブとの防火活動では、毎年秋季火災予防運動の時期に防火パレードや防火キャンペーンを実施して、住民に防火を呼びかけてお

ります。

高齢化社会が進み、私たちの地域も例外なく高齢者率39%以上と高くなっています。万が一の時、高齢者を含め住民の皆様が火災や災害の犠牲にならないよう、これからもこのような活動を通じて、地域の皆様に防火・防災意識を浸透させる取り組みを継続していこうと考えております。



いわき市 大高地区自主防災会

福島県いわき市大高地区自主防災会
前会長 鶴沼 靖



【はじめに】勿来町大高地区は、福島県いわき市の南部、勿来地区市街地西側の高台に位置しており、春には桜、秋には美しい紅葉を鑑賞することができる自然の美しさが魅力の地域です。また、大高寺や大高八幡神社など歴史的建造物が点在しており、地域の伝統行事や文化活動が活発に行われています。

【地域に密着した防災訓練】具体的な活動例として、自主防災会が地元消防団及び地区在住の防災士と連携し、当地域に起こり得る災害を想定した訓練を毎年継続的に実施しています。また、災害発生時における地域住民の行動の在り方について検討を重ね、自助・共助を組み合わせた防災・減災対策にも力を入れています。

このような継続的な「防災・減災」への取り組みは、着実に地域住民の防災意識の高揚につながっており、近年発生した自然災害の直後には、老若男女、多くの住民が指定避難所へ自主参集し

たほか、訓練参加者に若年層が増えているなど、幅広い世代へ防災意識が浸透しています。

【おわりに】大高地区自主防災会は、「自分たちの地域は自分たちで守る」の基本理念のもと、今後も地域の消防団や防災士と連携し、さまざまな活動をとおして顔の見える関係を築きながら、地域防災力の向上に努めてまいります。

